

## 北里大学病院・北里大学東病院（旧）を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 (受付番号/承認番号)	非小細胞肺癌術後に oligo-recurrence をきたした患者における予後因子の検討
当院の研究責任者 (所属・職位)	呼吸器外科学 講師 三窪 将史
他の研究機関および各施設の研究責任者	なし
本研究の概要・背景・目的	<p>非小細胞肺癌の術後再発は依然として大きな問題です。</p> <p>再発した際に再発の個数が少なく(2~5個以内)で、かつそれらすべての再発部への手術や放射線治療などの局所的治療が可能な oligo-recurrence は他の再発病変と比べて予後良好とされています。しかし、oligo-recurrence に関する論文は多くなく、不明な点も多いのが現状です。</p> <p>予後が良いとされる術後 oligo-recurrence をきたした非小細胞肺癌においてもその予後は様々であり、oligo-recurrence の予後因子については明らかになっておりません。</p> <p>このため、術後に oligo-recurrence をきたした非小細胞肺癌を後方視的に調査することで、予後を含めた特徴を理解することができ、患者様へのより詳細な情報提供が可能になり、また、治療法を選ぶ際の一助となると考えております。</p>
調査データ 該当期間	1990年1月1日から2024年12月31日までを調査対象とします。
対象となる患者さま	2000年1月1日から2022年12月31日までに北里大学病院呼吸器外科において非小細胞肺癌と診断され外科的切除を受けた患者さま
研究の方法 (使用する試料等)	<p>利用する情報</p> <p>1990年1月1日から2024年12月31日の期間の電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します。</p>
試料/情報の他の研究機関への提供および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	<p>本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません</p> <p>本研究の遂行のための費用は北里大学医学部呼吸器外科学研究費を使用します。研究に関する利益相反は、北里大学利益相反委員会で審査を受け適切に管理されております。</p>
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象と</p>

しませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。  
ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

**所属・職位：**呼吸器外科学 講師  
**担当者：**三窪将史（ミクボマサシ）  
**電話：**042-778-9112

備考